シンテック

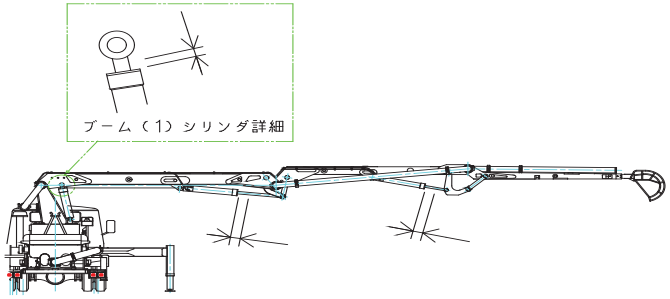
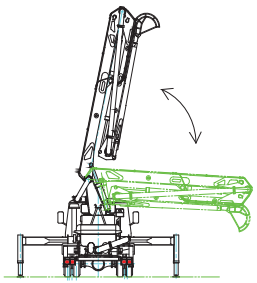
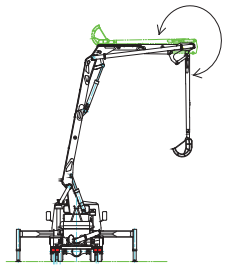
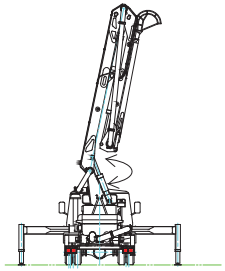
適用範囲			モデル名		SP-70CB
			主仕様	吸吐弁形式	−	平行摺動
				最大吐出量	㎥/h	70
				最大吐出圧力	Mpa	42.6
				ｱｰﾑ最大地上高	m	17
			適用号機			001～
区分		検査箇所	検査項目(条件)		単位	検査基準値
作業装置	圧送装置	ポンプ本体	ピストンストローク回数		回/min	45±1
			ローター回転数		回/min	−
			(油圧ポンプ回転数)		(min^{-1})	(2150±50)
			(エンジン回転数)		(min^{-1})	(−)
			(作動油温度)		(℃)	(50±10)
		撹拌装置(カクハンソウチ)	回転速度		min^{-1}	39±1
			チェーンのたわみ		mm	10
			(油圧ポンプ回転数)		(min^{-1})	(2150±50)
			(エンジン回転数)		(min^{-1})	(−)
			(作動油温度)		(℃)	(50±10)
		真空ポンプ	圧力設定値		Pa	−
			(設定値到達時間)		(min)	(−)
			圧力降下許容量		Pa	−
			(保持時間)		(min)	(−)
			Vベルトのたわみ		mm	−
	ブーム装置	シリンダー自然降下量	ブーム(1)シリンダー		mm	1
			ブーム(2)シリンダー		mm	1
			ブーム(3)シリンダー		mm	1
			ブーム(4)シリンダー		mm	−
			ブーム(5)シリンダー		mm	−
			(測定時間)		(min)	(10)
			(作動計測条件)			(無負荷)
			(作業装置姿勢)		[図面No.]	[図面No. 1]
		☆ブームシリンダー作動時間	ブーム(1)	伸び	sec	50±10
				縮み	sec	60±10
			ブーム(2)	伸び	sec	75±10
				縮み	sec	85±10
			ブーム(3)	伸び	sec	60±10
				縮み	sec	80±10
			ブーム(4)	伸び	sec	−
				縮み	sec	−
			ブーム(5)	伸び	sec	−
				縮み	sec	−
			(油圧ポンプ回転数)		(min^{-1})	(2150±50)
			(作動油温度)		(℃)	(50±10)
			(作業装置姿勢)		[図面No.]	[図面No. 2～5]
	洗浄装置	水ポンプ(配管洗浄用)	吐出圧力	油圧	Mpa	13.7
				水圧	Mpa	4.26
				飛距離	m	10
		空圧機	吐出圧力		MPa	0.98
			(油圧ポンプ回転数)		(min^{-1})	(2150±50)
			(エンジン回転数)		(min^{-1})	(−)
			(作動油温度)		(℃)	(50±10)

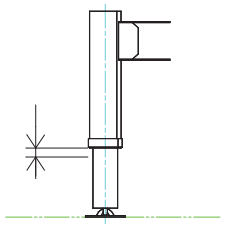
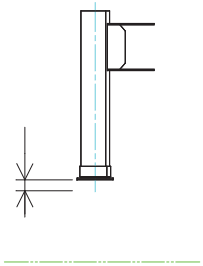
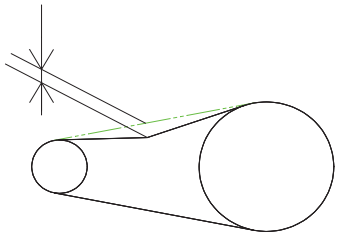
☆印：新車基準値を表す(参考値)

適用範囲			モデル名		SP-70CB
			主仕様	吸吐弁形式	−	平行摺動
				最大吐出量	㎥/h	70
				最大吐出圧力	Mpa	42.6
				ｱｰﾑ最大地上高	m	17
			適用号機			001～
区分		検査箇所	検査項目(条件)		単位	検査基準値
油圧装置		☆油圧機器セット圧	主油ポンプ油圧		MPa	24.5
			弁シリンダー油圧		MPa	13.7
			撹拌モータ油圧		MPa	13.7
			ブーム油圧		MPa	20.6
			ACCガス封入圧力		MPa	−
			(油圧ポンプ回転数)		(min^{-1})	(2200)
			(エンジン回転数)		(min^{-1})	(−)
			(作動油温度)		(℃)	(50±10)
車体・安全装置	旋回装置	☆旋回ベアリング取付ボルトの締付	外輪取付けボルトの締め付けトルク		N.・m	450
			内輪取付ボルトの締め付けトルク		N.・m	450
			旋回ボルトの交換基準		年	3
		☆旋回作動速度	旋回速度		sec	40±5
			(旋回作動角度)		(度)	(90)
			(油圧ポンプ回転数)		(min^{-1})	(2200)
			(エンジン回転数)		(min^{-1})	(−)
			(作動油温度)		(℃)	(50±10)
	アウトリガー	シリンダー自然伸縮量	各垂直シリンダー		mm	1
			(測定時間)		(min)	(10)
			(作業装置姿勢)		[図面No.]	[図面No. 6～8]
特記事項						

☆印：新車基準値を表す(参考値)

シンテック

項　目	測　定　方　法	計　測　姿　勢
ブームシリンダー 自然降下	ブームはアウトリガーの真上の位置で、ブーム全体を水平に伸ばし10分間での各シリンダーの自然伸縮量を測定する。	**図-1 ブームシリンダーの自然伸縮量測定**
		
ブーム旋回 作動速度	No.1シリンダーのフルストロークに要する時間を測定。	**図-2 ブーム(1) 作動速度測定**
		
	No.2シリンダーのフルストロークに要する時間を測定。	**図-3 ブーム(2) 作動速度測定**
	No.3シリンダーのフルストロークに要する時間を測定。	**図-4 ブーム(3) 作動速度測定**
		
	旋回部と固定部にマーキングし旋回に要する時間を測定。	**図-5 ブーム(4) 作動速度測定**
		

項　目	測　定　方　法	計　測　姿　勢
アウトリガシリンダー 自然伸縮	ブームはアウトリガーの真上の位置で、最大伸長させ10分間にて測定する。（ブームは、最長に伸ばし、アウトリガーの上に位置した状態で測定する）	**図-6 アウトリガーシリンダー自然短縮量測定**
		
	ジャッキを最短縮させ3分後を基準とし10分間放置した後の値を測定する。	**図-7 アウトリガーシリンダー自然伸長測定**
		
	スプロケット間の中央のチェーンを押し、たわみ量を測定する。	**図-8 チェーンのたわみ量の測定**